

■ 江別市 平和のつどい

市役所前で開催された、平和の集いに児童会書記局の児童が出席しました。市長や知事などが参加される中、市内の小学校や中学校、高等学校代表の児童生徒が参加しました。献花や平和都市宣言の朗読、高校生が平和の誓いを述べ、戦争のない平和な社会を創造していくことを誓いました。参加した児童は、平和な社会や世の中を守り続けていくことの大切さを改めて学び、貴重な時間となりました。

各校で作った折鶴を持ち寄り奉納しました。（本校でも児童が1～3個の折鶴を作製しました）集められた折鶴は広島市に送られ、広島平和記念公園内にある「原爆の子の像」に捧げられる予定です。

江別市 平和都市宣言

平和の歌を紹介しこの世に生命(いのち)を与えられたすべての人々は、平和で安心した暮らしを願っています。

しかし、世界の各地では争いが絶えず、また、大量の核兵器が世界の平和と人類の生存に大きな脅威を与えています。

わたしたちは、世界唯一の被爆国として、広島・長崎の惨禍を繰り返さないように、核兵器廃絶を強く訴え、戦争のない平和な世界の実現を求めます。

そのために、世界中の国、地域、人々との交流の輪を広げ、互いの個性や違いを理解し尊重し合うことが必要です。

わたしたち江別市民は、豊かな自然と先人が築いた歴史や文化を引き継ぎ、平和な社会をつくるため、家庭や地域において一人ひとりが確かな意思を持って行動していくことを誓い、ここに江別市が「平和都市」であることを宣言します。

